

## 事前課題の提出について

- 児童分野の演習に参加するにあたり、以下に示す課題にあらかじめ取り組んでください。
- 作成した事前課題については演習の際に使用するため、当日は忘れずに持参してください。
  - ※ **事前課題が未提出の場合、演習の受講ができません。**
  - ※ **事前課題の記入内容が不十分な場合、再提出を求める場合があります。**
- 演習参加にあたり、名刺を30枚程度持参してください。

### 添付資料

- |   |                                    |        |
|---|------------------------------------|--------|
| ① | 【課題1】自分をアピールするための～自己紹介シート～         | 1枚(A4) |
| ② | 【課題2】課題の整理表(記入についての工夫、演習事例、様式、記入例) | 7枚(A4) |
| ③ | 【課題3】社会資源調査票(シート1・2、参考資料①、参考資料②)   | 4枚(A4) |

### 提出課題の内容

	内容	留意点
①	<b>【課題1】自己紹介シート</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本情報等に記入をしたうえで、最下段の「自己アピール」欄に、要点を300文字以内で整理する。</li> <li>● <u>必ず「上司からの応援メッセージ」を記入する。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 手書き可。当日は<b>原本のほかにコピーを7部を持参</b>。</li> <li>● <b>当日必携</b>(事前提出不要)。</li> <li>● 演習の際に必ず使う。</li> </ul>
②	<b>【課題2】課題の整理表</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 演習事例(アセスメント資料)の内容をよく読み込んで、「課題の整理表」を作成する。</li> <li>● 演習当日は、ここで整理された課題をもとに「個別支援計画」を作成します。</li> <li>● 記入に際して困ったときには、『「課題の整理表」作成についての工夫』や『「課題の整理表」記入例』を参照。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 手書き可。当日は<b>原本のほかにコピーを7部を持参</b>。</li> <li>● <b>当日必携</b>(事前提出不要)。</li> <li>● いずれの表も演習で必ず使用するので、忘れずに持参すること。</li> </ul>
③	<b>【課題3】社会資源調査表(シート1、2)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域における各種社会資源について、自身の属する事業所との関係性の中から整理する。</li> <li>● 現在連携していない機関などについても、今後の連携に向けた目標を含めて調べて整理する。</li> </ul>	

### 課題の提出

- 演習初日に【課題1】【課題2】【課題3】の**原本を受付で必ず提出**してください。
- 【課題1】【課題2】【課題3】をコピーした7部は、1部を自分の手元資料とし、残りは同一グループの参加者に配布します。

自分をアピールするための～自己紹介シート～

- ✦ 児童発達支援管理責任者の演習では、最初のグループワークの際に自己紹介をします。
- ✦ 限られた演習時間ですから、1人1分(厳守)で自分をアピールできるようにこのシートを使ってまとめておきましょう。
- ✦ この課題は、あなたの上司からのメッセージも必ず記入してもらいましょう。

**■あなたの基本情報■**

名前		出身地	
勤務先		経験年数	福祉分野の経験: 年
職名(所属)			うち児童分野の経験: 年

**■福祉事業に関する情報■**

福祉の仕事を志した動機(原点)は?	
職場が目指す理念や目標は?	
今の職場であなたが取り組んでいる仕事の内容は?	
福祉職以外に経験した仕事やアルバイトで、今の仕事に活かしていると思う経験は?	

**■未来の自分について■**

人生における夢(目標)は何ですか?	
福祉の専門家として、目指そうとする目標(人物像)は何ですか?	

**◆自己アピール◆**

- 上記に記入した内容を整理し、演習参加の際に自己紹介を1分で伝えられるよう、概ね300字程度で自己アピールをまとめてみましょう。

**◆上司(または管理者)からの応援メッセージ◆**

- 研修受講にあたり、「児童発達支援管理責任者」を担う受講者への期待、アドバイスを記載して下さい。
- 受講者自身が管理者の場合は、あなたが目指す「児童発達支援管理責任者」像を記載してみましょう。

事業所名		役職名		氏名		印

★この課題は必ずコピーを7部用意して下さい。また、原本は演習初日に受付で提出して下さい★

## 「課題の整理表」記入についての工夫 [名古屋市版]

- 初めてこのような課題に取り組む方が受講されることも考えられるので、作成にあたっては以下の要領を参考にしながら、要点を十分整理した“まとめ”になるよう努めてください。

### 【課題の整理表作成の視点】

- あなたは、【A 地域療育センター(児童発達支援センター)】(以下「Aセンター」)の児童発達支援管理責任者です。
- ご両親の転居に伴い、お子さん(以下「一朗くん」)があなたの事業所を利用することになりました。
- 以前の街ではK療育センター(以下「Kセンター」)を利用していたことから、転居に伴う療育支援の継続についてKセンターから事前に連絡を受け、併せてKセンター利用時の一朗くんの様子についても情報提供を得ました。なお本事例は演習用として、相談支援事業所からの有効な情報が限定的な事例としています。
- そこで、あなたのAセンターで療育支援を継続して実施するために必要な「個別支援計画」の作成にむけ、現在得られている情報をもとに一朗くんやご家族の現状に関する「課題の整理」を行います。
- まずは、今回提供される事例のアセスメント資料をよく読みこみ、子ども像をイメージしながら、この事例における課題を以下の①～⑤の流れから整理し、「課題の整理表」を作成してください。
- 研修当日は、この事前課題をもとにグループワーク形式で「個別支援計画」の作成演習を行います。

#### ① 子どもや家族の訴え(将来への目標や希望)

- ☞ ここでは本人や家族が希望する支援について整理する。

#### ② 今現在の状態(問題点、課題、困っていること)

- ☞ ここでは①で現れた希望や願いについて、本人や家族等が置かれている現状を支援者として客観的に整理する。

#### ③ 目標(ニーズ)に繋がる本人の力(その人がもつ可能性や強み・ストレングス)

- ☞ ここでは、上記①②で現れた希望や課題について、解決するうえで有効と思われる本人や家族の可能性や強みを注意深く読み取り、整理する。提供情報から推測できることについてまとめてみるのも良い。

#### ④ 課題の整理(目標達成に向けた支援者の工夫)

- ☞ ここでは、上記①～③で整理した内容にもとづき、具体的な療育や支援を提供する際に必要となる支援のポイントについて、具体的かつ簡潔に整理する。

#### ⑤ 課題のまとめ

- ☞ ここでは、①～④でまとめられた様々なニーズや課題の中から、当面の支援目標を本人や家族と共有するために、支援計画の重点課題を100文字以内で簡潔にまとめる。

- 課題の整理にあたっては、以下の A)～C)の3つの視点にも留意して整理する。

#### A) 発達支援

- ☞ 将来の暮らしに向けた子どもの成長という視点から、ニーズや課題を読み取る。

#### B) 家族支援

- ☞ 家族機能や子育て力を支える視点から、家族のニーズや課題を読み取る。

#### C) 地域支援・連携

- ☞ 地域にある関係機関、あるいは家族が暮らす地域そのものとのつながり方という視点から、ニーズや課題を読み取る。

## 情報提供 プロフィール①

K療育センター保育士 2017年3月5日作成

氏名	名古屋 一郎			利用状況 (2月まで)	K療育センター2年目(通園部門):大阪市〇〇〇 <週5日利用> 月・火・水・木・金 10:00~15:00 送迎有
性別	男	生年月日	2012年3月1日(5歳0ヶ月)		
診断名	知的障害 自閉症			他機関の利用 や連携について	K療育センター(診療部門)にて → ST訓練(月1回)・OT訓練(月1回) S児童発達支援事業所を週1回利用(土曜日)
成育歴	<p>妊娠39週 体重3300g 正常分娩</p> <p>首の座り4カ月 ねがえり5カ月 座位7カ月 ずりばい7カ月 よつばい10カ月 始歩13ヶ月 始語1歳「ママ」「パパ」「バナナ」「デンジャ」「イヤ」など 1歳半健診 →10語程度発語あり、指差しあり。指摘なし。</p> <p>2歳8カ月 K療育センター(診療部門)にて初診 父母:2歳頃よりことば消失、視線もあいにくくなった。 社会性なく、手をつないで歩けない。道路に飛び出す、 高い所に登る等危険なことをする。どう関わっていいかわからない。 → 知的障害、自閉症と診断</p> <p>2歳9カ月 週1回の親子教室参加 3歳1カ月 K療育センター入園(通園部門) 2017.3 父の転勤で、大阪市内から名古屋市内に転居 2017.4 A児童発達支援センター入園予定 (A地域療育センターに併設)</p>				
自宅の環境	<p>&lt;転居前&gt; 大阪市内 賃貸マンション3LDK 住宅街で商業施設、公園など近所にある。</p> <p>&lt;転居後&gt; 名古屋市内 賃貸マンション3LDK 街中のマンションで3車線の道路に隣接。付近にはスーパー 等あり、地下鉄の駅も近く生活にはとても便利な環境。 しかし公園など子どもを安心してあそばせられる場所が近所 にはない。</p>			家族状況	<p>母:主婦。運転免許が無く車での移動ができない。本児を連れて公共交通機関での移動に不安がある為、自転車で移動できる範囲での生活。子どもへの関わりはとても穏やか。クラスの保護者とは仲が良く、保護者同士の関わりは良好な様子。しかしながら、本児の状況からも子育ての悩みは大きく、連絡帳や担任への相談で大変な状況を伝えている。きょうだいの塾、習い事への送迎、付添などもあり忙しい。</p> <p>父:会社員(年収500~600万円程度)。休みの日には子どもとも過ごしてくれるなど、出来る範囲で子育てへの参加してくれている様子。行事等にも参加している。</p> <p>きょうだい:本児からの関わりは薄い。きょうだいからの働きかけには応える様子はあるが、きょうだいもどう関わってよいか分からず困ってしまうことが多いとのこと(母談)。</p> <p>あそび:乗り物の絵本を見たり、家庭用のトランポリン、ジャングルジムなどであそんでいる。部屋の中を走り回ることも多く困ることがある様子。</p>

情報提供 事例の説明

<p>K療育センター通園部門 (児童発達支援センター)</p>	<p>K療育センター（通園部門：2015.4 入園）の4歳児（年中）8名のクラスに在籍。重複障害児、ダウン症児、自閉症児など障害の状況が多様なクラスで担任は2人。 2017年4月より名古屋市〇〇区にあるA児童発達支援センター（A地域療育センター内）へ転園予定。</p>
<p>事例について 入園当初からの経過と現状</p>	<p>K療育センター（通園部門）の利用を開始してから2年。 入園当初は室内になかなか入れず、外で泣けてしまう、怒るなど不安な気持ちを表すことがある等、新しい場、集団への不安が色々な場面で見られた。母親との分離不安はあり、分離で泣けることもあった。毎日通う中で、クラスの部屋が安心できる場所になり、室内で過ごすことができるようになる。体を使うあそびが好きで、楽しく過ごせるあそびも増えた。トランポリン、すべり台などが好き。しかしブランコなどの吊り遊具のような揺れるものは苦手な乗るのを嫌がる。担当保育者との関係が出来てくる中で、人との関わりで笑顔が増え、全く食べられなかった給食も食べられる物ができた。 ゆっくりではあるが、生活の力、あそび、人との関わり等広がってきている。排泄ではオシッコが便器で出来るようになった。しかしながら、スピーカーの音が苦手な音が聞こえるとその場所に行けない。また、初めての場面では活動の部屋に入れなくなってしまう、クラスの部屋から出られなくなってしまうなどの姿がある。又、食べ物を床に散らかしてしまうなど、食事の場面での大変さが現在もある。</p>
<p>現在の家庭での様子</p>	<p>家庭では、やりたいことがやれないと泣いて怒ったりする。興奮するとパニックになることもある。夜の睡眠が不安定で、夜中の2時、3時に起きて動きまわってしまうことがある。また、大便を部屋の中でしてしまったり、大便を部屋中にぬりたくってしまったたり母は家庭での大変な状況を訴えている。外出時には、パンツや紙おむつの感触が嫌で脱いでしまうこともあると母から聞いている。</p>
<p>家族からの要望等</p>	<p>成長してきたことで、逆に苦手なものも増えた。K療育センターに通うことで、人を意識して自分から関わろうとする姿が増えてきた。人と接することの楽しさをもっと知ってもらいたい。 家庭でも伝えたい気持ちのサインを見逃さないよう、一朗との関わりを大切にしていきたいと思っている。A児童発達支援センターで沢山の経験を積むことで、不安なことにも「やってみよう」と思える気持ちが育ってくれれば嬉しい。 ただ、大便を部屋の中でしてしまい大変なことになったり、思い通りにならない時に怒ったり、パニックになってしまう時は大変。もう少し落ち着いて生活できるようになると嬉しい。又、外出時は危険が分からない為、目が離せない。せめて自分から手をつないでくれるなど、安心して外出できるようになってほしい。自転車での移動は落ち着いて乗ってくれるので安心。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>今回、A児童発達支援センターに通うにあたり、K療育センターより情報提供をしてもらい個別支援計画の作成を行う。 就学に向けて進路の選択をしていく年齢での転居となる為、早い段階で相談、見学など就学への対応が必要。</p>

情報提供 プロフィール② K療育センターでの様子 (通園部門)

2017年3月5日作成

クラス	ひこうきぐみ	名前	名古屋 一朗	生年月日	2012年3月1日 (5歳0ヶ月)	障害名	知的障害 自閉症	手帳	不所持							
健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>鼻水や咳がでると続くことがあるが、大きく体調を崩すことなく通うことができています。</li> </ul>		あそび	<ul style="list-style-type: none"> <li>トランポリン、すべり台などの遊具が好きで高いところに自分で登る。ブランコは苦手。</li> <li>水が好きで、自分で蛇口をひねって水あそびを始めてしまうことが多い。自分で終えることは難しい。</li> <li>リズム運動では“うさぎ”でジャンプしたり、“とんぼ”や“めだか”では自分から保育者と手をつないで一緒に走ると笑顔がでる。ホールは苦手で行くのを嫌がるが多かったが、みんなと一緒に大丈夫な時が増えた。</li> <li>朝のつどいでは、絵本の読み聞かせや手あそびが始まると保育者のひざの上に座りに来て笑顔で参加している。椅子に座って参加する姿も増えている。呼名で名前を呼ばれると、保育者の手にタッチしに来る姿が出てきた。</li> <li>描画ではクレヨンに興味を持ち始め、描くことを楽しめるようになった（ぐるぐる書きができる）。絵の具をローラーで転がして色が混ざることもし楽しい。</li> <li>3～5ピース程度のパズルは好きで自分でできる。</li> </ul>												
食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食の時間になると自分から給食室やワゴンを見に来て、欲しい物があると手をのばして伝えている。ワゴンを保育者と一緒に部屋に運んでいる。</li> <li>食べられるものが増え、目玉焼、きのこ、さつまいも、お肉なども食べるが増えた。又、ごはんは大きなおにぎりにすることで食べるができています。</li> <li>自分でお皿を持ってワゴンにおかわりを取りに行く姿も出てきた。</li> <li>食べ物をバラバラに千切って、突然床にまいて、それを拾って食べるという姿がある。力も強く、動きが早いため、上手く止めるなど、切り替えることが出来ていない。</li> </ul>															
排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>便器でおしっこが出来るようになってきている。しかしながらまだ失敗することはある。失敗してしまうと、自分でズボン、パンツを脱いで保育者に伝える。</li> </ul>															
睡眠	<ul style="list-style-type: none"> <li>午睡では保育者の手を取り、隣に来て欲しいことを伝える。保育者が身体をさすったり、隣で寝転んだりすると安心して横になって身体を休めている。</li> <li>夜の睡眠は安定せず、夜中に起きてしまうことがある様子。</li> </ul>									人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>扉を開けてほしい、物を取ってほしいなど、やってほしいことがあるとそばにいる保育者の手をとって要求する。</li> <li>この保育者が好きといった様子はあまり見られず、初めてクラスに入ったボランティアでも担任と同じように手を引いていく、膝に座るなどの姿がある。</li> <li>お友だちと一緒にキャスターボードに乗ったり、お友だちが横に来て一緒に絵本を見たり、お友だちからの関わりを嫌がらずに受け止めることができるようになった。</li> </ul>					
着脱	<ul style="list-style-type: none"> <li>“この服がいい”と選んで服を取り出す。</li> <li>自分で靴と靴下を脱いで部屋に入ることができる。履くときには援助が必要。</li> <li>ズボンは足を通すところを手伝うと、自分で上げることができるようになってきた。服はぬれていても平気。</li> </ul>															

## 情報提供 発達相談記録

K療育センター（診療部門）

患者 ID 1111	氏名 名古屋 一郎	男性	生年月日 2012年3月1日	電話番号 06-111-2222
臨床診断 MR（知的障害） Aut（自閉症） ※発達は折れ線タイプ		手帳 存・無	処方年月日 2017年2月10日	処方医 大阪 偉史 印

検査実施日 : 2016年 10月 10日	CA（生活年齢）: 4歳7カ月	主訴	発達相談
＜KIDS乳幼児発達スケール＞			
運動	2～3歳	対成人社会性	1歳6カ月
操作	1歳10カ月	しつけ	2歳0カ月
理解言語	1歳0カ月	食事	1歳8カ月
表出言語	1歳0カ月		
概念	1歳0カ月	総合発達年齢	1歳7カ月
対こども社会性	1歳1カ月		
所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自我がでてきて「いや」「かえる」等、NOの意思表示がしっかりできるようになってきました。発声、表情で伝えることが増えてきています。</li> <li>・生活の流れの中で簡単な状況理解が育ってきました。</li> </ul>		
※KIDS乳幼児発達スケール 生活の様子を保護者に伺って、お子さんの発達をとらえる検査。			

検査実施日 : 2017年 2月 10日	CA（生活年齢）: 4歳11カ月	主訴	発達検査
＜新版K式発達検査＞			
領域別	発達年齢	発達指数	※発達指数 平均=100
姿勢・運動	3歳1カ月	57	
認知・適応	2歳0カ月	37	
言語・社会	1歳1カ月	20	
全領域	1歳11カ月	35	
所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「聞いて考える」より「見て考える」力が強い。</li> <li>・人に伝える行動は増えてきていますが、話し言葉がなかなか定着しない傾向がみられる。今後STで話し言葉以外の伝達手段を広げていきましょう。</li> </ul>		

**課題の整理表**

[受講者氏名 : \_\_\_\_\_]

	①子どもや家族の訴え (将来への目標や希望)	支援者として気づいた客観的事実		④課題の整理 (目標達成に向けた支援者の工夫)
		②今現在の状態 (問題点、課題、困っていること)	③目標(ニーズ)に繋がる本人の力 (その人がもつ可能性や強み)	
発達支援 (子どもの願い)				
家族支援 (家族への支え)				
地域支援・連携 (地域との繋がり)				
⑤課題のまとめ	※今後の療育や家族支援に向けて、このケースの重点的な要素を 100 文字以内でまとめる。			

★このシートは、必ず原本を除き7部コピーをして演習初日に持参して下さい。(原本は演習初日に受付にて提出すること)★

# 記入例

## 課題の整理表

- ニーズ整理(課題整理)が初めてという方は、この記入例を参考に【課題2】に取り組んでください。
- この記入例と、事前課題として示す事例とは一切の関係がありません。【課題2】の作成に際しては、今回提供された事例のアセスメント資料を十分に読み込んで作成してください。

	①子どもや家族の訴え (将来への目標や希望)	支援者として気づいた客観的事実		④課題の整理 (目標達成に向けた支援者の工夫)
		②今現在の状態 (問題点、課題、困っていること)	③目標(ニーズ)に繋がる本人の力 (その人がもつ可能性や強み)	
発達支援 (子どもの願い)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 思いを上手く伝えられるようになりたい。</li> <li>② 体を上手く動かせるようになりたい。</li> <li>③ たくさん遊びたい。</li> <li>④ 自分で出来る事を増やしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 気に入らない事があると、反射的に手が出てしまう。</li> <li>○ てんかん発作がある。</li> <li>○ 同じ遊びで繰り返し遊ぶ。</li> <li>○ 同年代の友達との関わりが少ない。</li> <li>○ 体の動かし方がぎこちない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 好きな遊びがある。</li> <li>○ 自分でやりたい、という気持ちがある。</li> <li>○ 独歩が可能。</li> <li>○ 学校に休まず通うことが出来る。</li> <li>○ 他児の真似が出来る。</li> <li>○ ヘルパーとの外出が出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Nちゃんの気持ちや行動に合った言葉を代弁する。</li> <li>○ 真似をしながら子ども同士の遊びを楽しめるよう、リズム遊び等を行う。</li> <li>○ 好きな遊びを他児と楽しめるよう活動の設定を行う。</li> </ul>
家族支援 (家族の支え)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 家族でゆっくり過ごす時間が欲しい。</li> <li>② 仕事をしたい。(母)</li> <li>③ Nちゃんの発達や体調に心配がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 父親の仕事が忙しく、子育ては母親中心。</li> <li>○ 初めての長期休暇(夏休み)がある。</li> <li>○ 言語訓練の期間が決まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 両祖父母が子育てに協力的。</li> <li>○ 母:保育士の資格有。</li> <li>○ 移動支援を利用している。</li> <li>○ 言語訓練に通えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 成長、発達段階に合った支援が受けられるよう、必要な情報提供を行う。</li> <li>○ 休まずデイサービスに通えるよう、楽しい場になるよう工夫する。</li> </ul>
地域支援・連携 (地域との繋がり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校へ楽しく通いたい。</li> <li>② 児童センターや公園で、同年代の友だちと遊ぶ時間を作りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対大人中心の生活で、同年代の子どもとの関わりが殆ど無い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 行き渋りなく学校に通うことが出来る。</li> <li>○ 担当ヘルパーが決まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校、家、移動支援時の様子を確認する。</li> <li>○ 子育て関係の行事等の情報提供を行う。</li> </ul>

⑤課題のまとめ	<p>※今後の療育や家族支援に向けて、このケースの重点的な要素を100文字程度でまとめる。</p> <p>子ども同士の関わりは苦手だが、マネもするNちゃん。好きな遊びや模倣を楽しみ、徐々に友達との関わりを広げ、遊ぶ力や人と関わる力を育む。また母が安心して子育てと就労を出来るよう、必要な情報提供に努める。(99字)</p>
---------	---

# 社会資源調査表(シート1)

受講者氏名

- 障害福祉サービスの提供にあつては、地域で活動する多くの機関・事業所等との連携が大切なため、改めて地域の社会資源を調べてみましょう。
- 作成に際しては、事業所が所在する市町村を基準に調べます。ただし地元でない広域機関などは障害保健福祉圏域(名古屋市は区単位)を基準に調べましょう。
- シート1では、児童支援において最もベーシックな関係機関を記入しましょう。記入に際しては今後の業務に役立つよう、より具体的な情報を記入することを心がけてください。各機関について複数の事業所等と連携している場合は、もともと連携機会が多い事業所1つを選んで記入してください。→必ずシート2も記入

質問1)あなたの事業所について記入して下さい…

事業所名	事業種別
------	------

質問2)あなたの事業所がある障害保健福祉圏域はどこですか？…

障害保健福祉圏域/地域療育センター

※名古屋市の場合は、あなたの事業所がある地域を担当する地域療育センターの名称を記載してください。

	機関の種類	各機関・事業所の具体的な名称	担当者(役職) or 担当部署	連絡先(住所、電話)	あなたの事業所とは、どのような協力体制をとっていますか？(現時点で関わりがない場合は、今後連携するための目標を記入してください)
1	障害児相談支援事業所				
2	児童相談センター(児相)				
3	保健センター(保健所)				
4	役所(受給者証の発行機関)				
5	児童発達支援センター・事業所				
6	放課後等デイサービス事業所				
7	幼・保育園 学校等				

★社会資源調査表は(シート1)(シート2)の両方を作成。原本を除きコピーを7部用意して下さい。また原本は演習初日に受付で提出してください★

## 社会資源調査表(シート2)

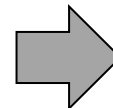
受講者氏名	
-------	--

- シート2では、シート1に記入した専門機関以外で貴方の事業所が協力体制をとっている機関や、今後関係を築くべきと考える機関などについて記入しましょう。  
(例: 居宅サービス事業所、教育関係機関、労働関係機関、その他に日頃からお付き合いのあるボランティアや地域の自治会や商店、近所の方など)

	機関の種類	各機関・事業所の具体的な名称	担当者(役職) or 担当部署	連絡先 (住所、電話)	あなたの事業所とは、どのような協力体制をとっていますか？ (現時点で関わりがない場合は、今後連携するための目標を記入してください)
例	スーパーマーケット	あいちマート 名古屋中店	田中さん (店長)	〇〇市〇〇町 1-2 電話 052-1234-5678	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちの買い物学習の機会を、月に1回実施。</li> <li>・ 年に1回、事業所の行事に店舗のスタッフがボランティアとして参加し、子どもたちと交流を持っている。</li> </ul>
1					
2					
3					
4					

- 貴方の事業所が立地する市区町村の自立支援協議会(以下、「協議会」)について、該当するものに○をつけ、続けて右の記載欄にも記入してください。

- ①協議会があることを知っていますか。……………(知っている・知らない)
- ②協議会に子どもに関する専門部会がありますか。……(ある・ない)
- ③あなたの事業所から協議会に参加をしていますか。…(いる・いない)



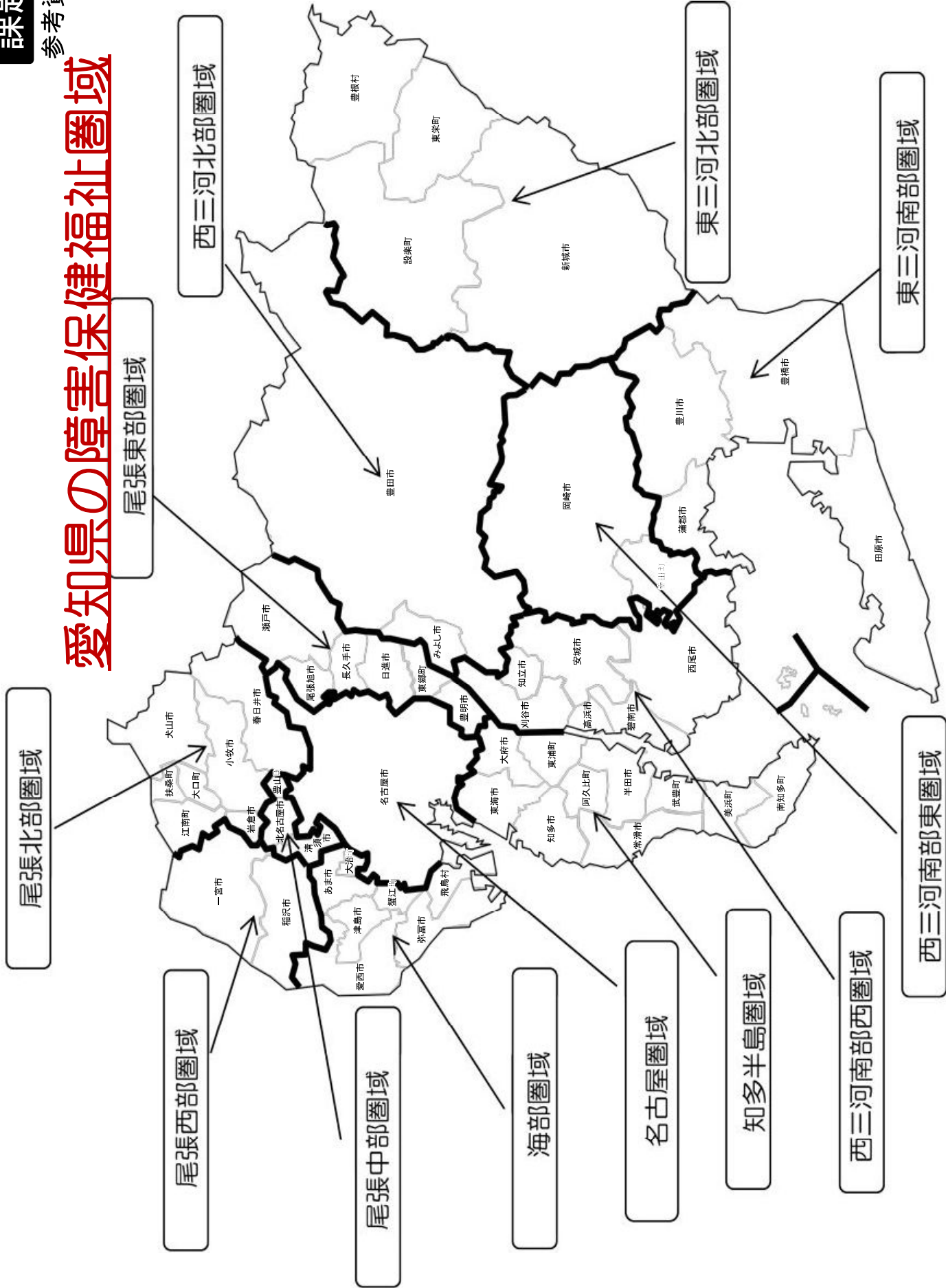
あなたの事業所は、協議会とどのように関わっていますか？ (現時点で関わりがない場合は、今後連携するための目標を記入してください)

★社会資源調査表は(シート1)(シート2)の両方を作成。原本を除きコピーを7部用意して下さい。また原本は演習初日に受付で提出してください★

# 課題 3

参考資料①

## 愛知県の障害保健福祉圏域



名古屋市内の療育機関（発達・療育の相談）

※名古屋市 HP より抜粋

療育機関			
施設名	所在地	電話番号	担当区域 <sup>※1</sup>
名古屋市中央療育センター <sup>※2</sup>	昭和区折戸町 4-16(児童福祉センター内)	052-757-6111	中区、昭和区、瑞穂区 熱田区、天白区
名古屋市西部地域療育センター	中川区小本一丁目 20-48	052-361-9555	中村区、中川区、港区
名古屋市北部地域療育センター	西区新福寺町 2-6-5	052-522-5277	東区、北区、西区
南部地域療育センターそよ風	南区三吉町 6-17	052-612-3357	南区、緑区
東部地域療育センターぽけっと	千種区猫洞通 1-15	052-782-0770	千種区、守山区、名東区

※1 乳幼児期の児童については、「担当区域」に応じて発達・療育相談に応じている。

※2 学齢期の児童については、名古屋市中央療育センターが名古屋市全域を対象として発達・療育相談に応じている。